

えほん 『あげる』 はらぺこめがね/著 佼成出版社



おなかがすくね

サクッ、カラッ、ジュワーっと、油であげる音が聞こえてきそうなあげもののえほんです。エビフライや、からあげ、コロッケに、とんかつと、とってもリアルな絵を見ると、おいしそうで、おなかがすいてきます。

「あげた あげた なにあげた？」と、クイズになっているので、答えを考えながら、楽しく読むことができますよ。さあ、みなさんは、答えが分かるでしょうか？さいごには、あれ？と、思うものもあげちゃいますよ。

食べもののえほんをたくさん書かれている同じ作者さんの『かける』や『あける』というえほんも、楽しくて、おいしそうで、おすすめです。

えほん 『かもめたくはいびん』 いいひろし/著 白泉社

とくいなことを活かそう

かもめたちが空をとんで荷物をとどけるかもめたくはいびん。お店はいつもおおいそがしで、いそがしすぎてやめてしまうかもめもたくさんいました。

そこで、かもめの店長さんは、長く仕事をつづけてくれそうなかもめをさがすことにしました。そして、新しくお店にやってきたのは、なんとペンギンでした。ペンギンは、はたらこうとするのですが、目がするどくて、お客さんにも、かもめたちにもこわがられてしまい、しごとになりません。

ところが、雨がふってきて、じょうきょうが急にかわるのです。店長さんも、ペンギンも大事なことをわすれていたようです…。

絵もとってもユニークで、思わずわらってしまいますよ。そして、読んでいると、きっとペンギンをおうえんしたくなるはずですよ。



ものがたり 『そんなのうそだ！』



ジーン・メリル/作 小宮由/訳 坂口友佳子/絵 岩波書店

さいごのさいごまで読んでみて！

ある村に、なまけもののサルとブタとキツネがすんでいました。3びきは、旅のお客に、うその話を聞かせて、かわりに食事をごちそうになっていました。

ある日、そこに、とてもごうかなふくを着たイヌがやってきました。それを見た3びきは、イヌの服をうばってやろうと、わるいたくらみを思いついたのです。それは、じゅんばんにびっくりするような、信じられないような話をして、だれかに、「そんなのうそだ！」と、言わせたものが勝ちというゲームをするということでした。負けたものは、勝ったものの言うことを何でも聞かなくてははいけません。さあ、いったいだれが勝つのでしょうか？みなさんも、「そんなのうそだ！」と言わずにいられるでしょうか？

さいごまで、ハラハラドキドキしながら読めるものがたりです。

ものがたり 『しまのないトラ』 斎藤洋/作 広川沙映子/絵 偕成社

みんなとちがってもだいじょうぶ

しまのないトラは、黒いしまもようがなく、黄色い体をしています。トラは、しまもようがあると、木の間に体をかくことができ、ねらっている動物に気づかれずに、すぐそばまで近づいて、つかまえることができます。しかし、しまのないトラは、木にかくれても、体がまる見えなので、すぐに動物たちに気づかれてにげられてしまいます。すっかり自信をなくしてしまったしまのないトラですが、出会ったワシからあるアドバイスをもらいます。しまがなくとも、ねらった動物をつかまえることはできるのでしょうか？

他にも、「足のあるヘビ」や、「しっぽのみじかいマングース」、「八本足のイカと十本足のタコ」など、みんなとはちがうとくちょうを持つ動物たちのお話が5つ入っています。

